

# 川口の農業だより

平成 24 年 12 月 No.77

『緑と大地の豊年まつり』  
開催される



11月3日(祝)、11月4日(日)に第21回緑と大地の豊年まつりが植物取引センター及び川口緑化センター【樹里安】で開催され、19,000人を超える方々が訪れました。

「大切にしよう日本の食と自然の輝きを!」をテーマに、会場では新鮮野菜の直売、花植木の展示即売、秋の味覚コーナー、イベントステージ、豊年ラッキー抽選会等が行われました。

新鮮野菜の直売は朝から行列をつくり、豊年ラッキー抽選会では米30kgや自転車が当たるなど、大盛況のうちに終了しました。



きらり川口 ゆめわ〜く

編集  
発行

## 川口市農業委員会

川口市青木2-1-1 電話 048(258)1110(代表)  
048(258)7922(直通)

市ホームページ <http://www.city.kawaguchi.lg.jp>  
e-mail 280.01000@city.kawaguchi.lg.jp



## 農業委員会委員選挙人名簿 登載申請書について

農業委員会では、毎年1月1日に農業委員会委員選挙人名簿登載申請書の提出をしていただき、選挙人名簿の調製を行っています。

- ◎ 川口市に住民登録しており、生年月日が平成5年1月1日以前の方で、
- (1) 10アール以上の農地において耕作の業務を営んでいる方  
または
  - (2) (1)に該当する方の同居の親族又は配偶者で、年間60日以上農業をしている方

上記に該当する方は、登載申請書をご提出ください。登載申請書の提出がない場合は、川口市農業委員会委員選挙人名簿に登録されず、農業委員の選挙権・被選挙権が得られませんのでご注意ください。なお、申請書は、8月に実施しました農地の所有状況調査等の内容に基づき配布いたしますので、指定された期日までに、調査員へ提出していただきますようお願いいたします。

※該当するにも関わらず申請書が配布されない場合は、農業委員会事務局までご連絡ください。  
年末・年始のお忙しい時期ではありますが、ご協力をお願いいたします。

## 生産緑地制度についてのお知らせ

### (1) 新規地区指定について

都市化の進展や農業を取り巻く環境の変化に伴い、市街化区域内の緑は年々減少を続けており、都市農地の持つ公害・災害防止及び景観形成の機能などは、その役割がますます重要になっております。川口市では、平成19年度より「市街化区域内に残る優良な農地の永続的な確保」と「都市における計画的な緑地の保全」を図るため、生産緑地地区の新規地区の指定を行っておりますが、平成25年度もその申請受付を1月から6月の間で行う予定ですので、お知らせいたします。なお、指定要件等の詳細については、下記みどり課までお問い合わせください。

### (2) 農地の管理義務について

生産緑地地区に指定されると、固定資産税の農地課税や相続税の納税猶予などの優遇措置が受けられる一方、長期(30年間)にわたり農地として適正に管理することが義務付けられます。

### (3) お願い

生産緑地制度の趣旨にもとづいて、引き続き周辺地域の環境に配慮し、農地の適正な利用・管理を行っていただきますようお願いいたします。

なお、相続等により、主な農業従事者がいなくなった場合は、特例的に生産緑地の解除の手続きができますが、相当期間が経過すると解除ができなくなりますので、ご注意ください。

参考：指定地区数 525 地区、面積 142.07ha  
(平成24年1月1日現在・鳩ヶ谷都市計画区域含む)

お問い合わせ先  
みどり課保全係 258-1110 (内線) 5514

## 農業者年金に加入しましょう

### あなたの老後の備えは万全ですか？

老後の生活は考える以上にお金がかかるものです。  
国民年金の上乗せ年金として、農業者年金でサラリーマン並みの年金を受け取りましょう。

- ☆年金額が加入者・受給者数に左右されない積立方式のため、少子高齢化時代に強い年金です
- ☆保険料の額は月額2万円から6万7千円まで千円単位で自由に決められます
- ☆80歳までの保証がついた終身年金です
- ☆支払った保険料は全額社会保険料控除の対象となります
- ☆国民年金の第1号被保険者で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の農業者の方なら、誰でも加入できます
- ☆農業の担い手には保険料の国庫補助があります

認定農業者で青色申告をしているなどの条件を満たせば、月額最高1万円の保険料補助が受けられます。

加入の申し込みやご相談は最寄りのJAか農業委員会または農業者年金基金にお問い合わせください。

独立行政法人 農業者年金基金  
企画調整室 03-3502-3942  
ホームページ <http://www.nounen.go.jp/>

## 人・農地プランをご存知ですか？

今、日本の農業は、農業者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加など、厳しい状況に直面しています。持続可能な力強い農業を実現するためには、基本となる人と農地の問題を一体的に解決していく必要があります。

このことから、国では、農業を進めるための総合的な計画である「人・農地プラン」の策定を推奨しています。「人・農地プラン」は、「今後、地域の中心となる経営体はどこ(誰)か」、「経営体に農地を集約して大規模化できるか」などを地域の中で話し合い、地域農業の将来の見通しを立てる、人と農地の「未来の設計図」です。

中心経営体としてプランに位置付けられると、「スーパーL資金の当初5年間無利子化(認定農業者)」などの支援を受けることができます。

詳細につきましては、農林水産省のホームページをご覧ください。  
[http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hito\\_nouchi\\_plan.html](http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hito_nouchi_plan.html)



## 秋の園芸フェスタ2012

9月22日(祝)・23日(日)の2日間、川口駅東口公共広場(キューポ・ラ広場)において、「秋の園芸フェスタ2012」が開催されました。

安行ブランドの植木、花き、草花等の特産園芸品の展示即売をはじめ、川口推奨みやげ品販売、新鮮野菜販売、緑花講習会、緑花クイズなどが行われ、多くの方が来場されました。

また、川口緑化センターのマスコットキャラクター「ジュリアン」も会場周辺を練り歩き、安行をPRするとともに、集客を図りました。



## 記念植樹が行われました

～川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり～

11月10日(土)川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり「前日まつり」が、川口駅東口公共広場(キューポ・ラ広場)において開催されました。

その中で、当時の川口宿、鳩ヶ谷宿近辺の日光御成道沿道に松が植えられていたと言われていることから、黒松の記念植樹が行われました。

### 日光御成道の歴史

日光御成道は徳川将軍家が徳川家康を祀る日光東照宮までの社参に使用した本郷追分から幸手追分までの12里30町(約48km)の街道で、三代将軍家光の時代に整備されました。

川口宿と鳩ヶ谷宿は日光御成道の前身である鎌倉時代の幹線道路「鎌倉街道中道」の道沿いの集落でした。

社参行列は片道4日間の行程で、初日は川口宿で昼食をとり、鳩ヶ谷宿を通りました。



黒松寄贈：川口緑化産業団体連合会